

高齢者対策や介護保険など

9月定例町議会

れにくくなったり、中心地ばかり重点が置かれ周辺地域は取り残されてしまうのではないかというようなデメリットも考えられる。

現在、当町においては合併についての準備はしていないが、将来的な問題として検討する時期に来ているものと判断している。

現在、当町においては合併についての準備はしていないが、将来的な問題として検討する時期に来ているものと判断している。

事業の進捗状況

問 3月議会で質問した学童保育の実施と図書室改修の進捗状況は

答 学童保育については、先の議会において、各小学校の状況ではまだそれほど学童保育の必要はない旨回答したところであるが、それから大分日数が経つたこともあり、9月1日現在で家庭の状況を再度調査したところに帰つても家族の方がいらない児童は横芝小学校で1年生8名、2年生9名、3年生16名。大総小学校では1年生2名、3年生5名。上堺小学校で1年生2名、2年生5名、3年生2名。という結果になっている。今後、保護者からアンケートを取り学校現場と話合いを行いながら対応してまいりたい。

図書室の改修については、現在のところ改修計画はないが、現期発見、早期治療に万全を期し

8月から金曜の午後に上堺・大

総会館の図書室を開放し図書の利用拡大を図っており、今後、利用者が増えれば改修等の対策を講じてまいりたい。また、中学校建設に伴い民間と共用できる図書館の設置を考えている。

一時保育

てまいりたい。

定期検診

問 ①新たに前立腺ガン検診の導入を

②小中学校における脊椎側弯症検診について

答 ①前立腺ガン検診については、現在実施している40歳以上を対象とした基本健康診査で血液・尿検査等を行なつており、この中でもある程度判断できる場合があるので、疑いがあれば専門の医療機関での検査を勧めているのが現状である。前立腺のみの専門的な検査となると病気の性格からも、通常町が実施している集団的な検診では大勢の方に受診いただけるか疑問であり、現在、実施している基本健康診査等を一人でも多くの方に受けたい。ただく方向で努力してまいりたい。

教育行政・心の教育

問 ①子ども議会の開催について

②脊椎側弯症検診については、当町でも小学校6年生・中学校2年生を対象に実施しており、今後も定期的な検診を実施し早

朝及び夕方の延長保育を実施しており、現在、10名ほどのお子さんを預かっている。また、私立のフタバ保育園で人数は非常に少ないが希望することもを預かっているのが現状である。

一時保育は希望があればすぐに預るというものの、保育所は大勢の子どもを預かっており、急に一時保育ということになると集団生活の面、部屋、職員配置等の問題も予想され、家庭の事情で一時保育を必要とするこ

とも十分理解できるものの実施に踏み切れない状況にあり、今後、問題点を関係機関と協議し現状の経過を見ながら将来計画を立ててまいりたい。

介護保険

問 ①認定に対する給付の状況について

②保険料の減免規定について

③国保税・介護保険料の分離徴収を考えてはどうか

④介護保険条例の理念、保険者の責任明記について

答 ①6月の1ヶ月の状況は、居宅サービス訪問介護412回、訪問看護87回、デイサービス472回、通所リハビリテーション183回、福祉用具貸与15件、ショートステイ68日、短期療養介護5日、

答 ①町の将来を担うこどもたちが町の政治や行政について学ぶことは、教育行政推進の上からも大変意味深いものがある。これを実施するには議会の協力が不可欠であり、また、学校側とも十分協議しなければならないと思うが、今後、教育行政の一環として取り上げていきたいと考える。